

○提出されたご意見の概要とご意見に対する県の考え方

No.	項目	意見の概要	対応案
1	第2期「総合戦略」全般	キャリアを求める若い独身女性が、東京圏を始め都市部に集中する傾向があり、これをどのように考えるかを、施策展開のためのアプローチの一つの視点に定めてはどうか。	第2期「総合戦略」の重視すべき視点の一つである「時代の流れを力にした産業革新・集積」に、「東京圏への若年女性の転出超過が拡大していることから、女性の定着・流入を促進するという観点で、女性の発想を生かした起業の促進など、女性が望む分野でのビジネスの創出が必要である」と記載させていただいております。 こうした視点を重視しながら、本県におけるさらなる女性の活躍促進に向けた取組を進めてまいります。
2	第2期「総合戦略」全般	県政の合理化、県民の利便性を向上させるために、郵便局を利活用してはどうか。郵便局は元々国民の福祉の増進を基本方針とした国の機関であった。営利事業は縮小して、名古屋市で行われている敬老パスの交付サービスのような公共のサービスや、一人暮らしの高齢者の見守り業務のフォロー等の県政の合理化を図り、また、県が実施するイベントの内容を充実させ、実施の際に県民の利便性の向上を図るために全国の2万余もある郵便局のフットワークを利用してはどうか。	「まち・ひと・しごと創生」は、経済・雇用、子育て、まちづくりなどの課題に一体的に取り組み、東京一極集中の是正と人口減少問題の克服を目指すものであり、地域の総力を挙げて取り組むべきテーマであります。 第2期「総合戦略」には、愛知のまち・ひと・しごと創生に向けた様々な分野の多岐にわたる政策を盛り込んでおり、その推進に当たっては、市町村を始め、産業界、国の関係機関、教育機関、金融機関、労働団体、報道機関、NPOなど、様々な主体との連携・協力が不可欠であり、様々な主体と連携しながら、地域一体となって施策・事業を推進していくこととしております。
3	第2期「総合戦略」全般	市町村の役所、支所があるが、これから高齢化社会、人生100年時代を迎える中、高齢者の免許返納等、近くにあればよいが離れた場所だと行くのも大変になってくる。そこで地域に身近に存在する郵便局と提携し、役所に行かなくても郵便局で用事が済ませるようサービスを拡大していけばよいと考える。役所だけでなく、地元の企業と連携しサービスを展開していけば利便性も向上し、地域のコミュニティーの場としても活用できると思う。過疎地、都市部どこでも活力ある地域づくりができる。	「まち・ひと・しごと創生」は、経済・雇用、子育て、まちづくりなどの課題に一体的に取り組み、東京一極集中の是正と人口減少問題の克服を目指すものであり、地域の総力を挙げて取り組むべきテーマであります。 第2期「総合戦略」には、愛知のまち・ひと・しごと創生に向けた様々な分野の多岐にわたる政策を盛り込んでおり、その推進に当たっては、市町村を始め、産業界、国の関係機関、教育機関、金融機関、労働団体、報道機関、NPOなど、様々な主体との連携・協力が不可欠であり、様々な主体と連携しながら、地域一体となって施策・事業を推進していくこととしております。

No.	項目	意見の概要	対応案
4	第2期「総合戦略」全般	<p>郵便局のネットワークを生かして、①福祉や環境分野に必要なことを局舎を生かして実施する(高齢者ケア・ゴミ回収など)、②道の駅との合同庁舎と設置する、③地元の産業を掘り起こし、販売の拠点する。</p>	<p>「まち・ひと・しごと創生」は、経済・雇用、子育て、まちづくりなどの課題に一体的に取り組み、東京一極集中の是正と人口減少問題の克服を目指すものであり、地域の総力を挙げて取り組むべきテーマであります。</p> <p>第2期「総合戦略」には、愛知のまち・ひと・しごと創生に向けた様々な分野の多岐にわたる政策を盛り込んでおり、その推進に当たっては、市町村を始め、産業界、国の関係機関、教育機関、金融機関、労働団体、報道機関、NPOなど、様々な主体との連携・協力が不可欠であり、様々な主体と連携しながら、地域一体となって施策・事業を推進していくこととしております。</p>
5	第2期「総合戦略」全般	<p>これから第4次産業革命に迎えるにあたって、愛知県の産業県としての優位性は失われる可能性があり、危機感をよりもたなくてはならない。これから迎える大変革の時代に柔軟に対応できない限り、愛知県はモノづくりをはじめとした産業が衰退し、2060年において700万人の人口の維持は絶対的に不可能になる。例えば、自動車業界においてはCASEにより、愛知県の製造業の優位性は無くなり衰退するリスクがある。さらに第4次産業革命においては製造業の人員は最小限で済むため、現在の製造業の雇用の確保は難しくなる可能性がある。愛知県はIoT・AI等の第4次産業革命に迎えるにあたって、これに対応した高度人材と企業を育てていかなければ、人口の維持と産業県としての維持は難しくなる。雇用が無くなり、若者の流出を食い止めるのはより難しくなる。</p>	<p>第2期「総合戦略」では、重視すべき視点の一つとして、「時代の流れを力にした産業革新・集積」を掲げておりいます。</p> <p>「Society5.0」の実現に向けた次世代技術の進展により、モノやサービスの生産性が飛躍的に高まり、産業や生活等の質が大きく変化していく転換点を迎えている中で、引き続き、本県が日本の「産業首都」としての役割を担い、わが国の産業・経済をけん引していくためには、単に変化に対応するだけではなく、新たな時代の流れを力に変えて、あらゆる分野において、競争力をさらに高めていく必要があります。特に、ビッグデータ、AI・IoT等の活用・導入がさらに進むことが想定される中、本県の基幹産業である自動車産業については、「CASE」など、新たな技術・サービスへの対応が重要となります。</p> <p>こうした視点のもと、第2期「総合戦略」において、次世代自動車の開発支援や普及促進を始めとする、次世代産業の振興に施策の充実・強化を図ってまいります。</p>

No.	項目	意見の概要	対応案
6	第2期「総合戦略」全般	<p>中京大都市圏づくりのパンフレットに記載していることがらも有意義であるが、文化や習慣、伝統を重んじる、人々に対して納得して、参加したくなるような、中京大都市圏づくりになるべく、企画や施策の推進を考えてほしい。</p> <p>9県を中部圏としていくなら、少なくとも9県の若者の交流を活発にする必要がある。例として、県職員等に交流してもらい、今後の国内、県内での有形・無形での存在感を確認し、都市づくりに携わる実行者としての人づくりをしてもらいたい。</p> <p>女性、特に若い人が住みやすくなる、子育てによい地域圏にすべく、交通事故、犯罪防止、特に犯罪の危険がない暮らしができる地域としてもらいたい。</p> <p>リニアと鈍行は速ければよいのか。遅ければ悪いのか。品川から名古屋まで40分ならば、飯田から名古屋までは何分になるのか。飯田から名所や旧跡、味どころに停車しながら、旅をする文化や魅力はどうなるのか。</p> <p>IoT・AIを活用すれば、全て問題ないのか。箱物企画をすれば他は丸投げで中京大都市圏づくりができるのか。今行われていることも大事であるが、それらを周知して、認知してもらい、最後は、中京圏を住みたいと思われる地域にすることや、そうしてもらおう人づくりをする必要がある。</p>	<p>本県は、中長期的な観点から愛知の進むべき方向性を明らかにした「あいちビジョン2020」に沿い、交通基盤・都市基盤の整備を始め、グローバル展開、産業革新・創造、魅力創造・発信などの取組を進めております。</p> <p>このうち、魅力創造・発信では、国内外から人を引きつける大都市圏の実現に向け、文化芸術の国際的なイベントの開催、武将観光・産業観光の推進、伝統文化・食文化等のPR、に加え、特に若年女性を中心とした愛知の「住みやすさ」のPRなどの取組を進めております。</p> <p>なお、いただきましたご意見のうち、犯罪防止など「安心して暮らせる地域社会の実現」は、暮らしやすい地域づくりのための重要な視点の一つであることから、第2期「総合戦略」の最終案への追記を検討させていただきます。</p> <p>また、東京圏への一極集中にストップをかけていくためには、本県のみならず、中京大都市圏の広域エリアが一体となって、この地域の強みを発揮していく必要があることから、産業や観光を始め、様々な分野において近隣県等との連携を図っていくことについて、追記を検討させていただきます。</p>
7	《基本目標1》しごとづくり (2)イノベーションの促進	<p>ITやAIの高度人材と企業の集積を目指す。特にヒト・モノ・カネ・情報が集まりやすい、愛知県においては名古屋市の都市部の都心において、第4次産業革命に対応できる、製造業等にも恩恵のある様々なイノベーションの拠点づくりをより進めていかななくてはならない。さらに次世代産業を担う企業の集積、誘致を進めていかななくてはならない。</p>	<p>第2期「総合戦略」では、「イノベーションの促進」として、スタートアップの育成・集積、起業の促進、モノづくり企業の新たな分野への進出支援などの取組を推進することにより、切れ目なくイノベーションが創出される地域を目指すため、スタートアップの創出・育成・展開を図るための拠点施設となる「ステーションAi」の整備と支援プログラムの展開等を通じて、地域総合戦略である「Aichi-Startup戦略」を推進し、スタートアップ・エコシステムの形成を図ることについて、記載させていただきます。</p>

No.	項目	意見の概要	対応案
8	<p>第2期「総合戦略」 《基本目標2》魅力づくり (8)観光交流拠点機能の強化、観光人材の育成</p>	<p>豊橋駅と伊良湖岬の外洋の海外線を結ぶ、絶景が楽しめる観光公共交通の検討・整備例えばBRTや、自動運転型モビリティ専用の道路の整備等、先進的な観光型公共交通のようなものを実現させて、先進技術と観光を活性化させる。</p>	<p>第2期「総合戦略」では、「観光交流拠点機能の強化、観光人材の育成」として、陸海空の優れた交通条件を有する本県の特徴を生かすため、駅や空港等のアクセス拠点からのバス、タクシー等の二次交通の利便性向上を図るとともに、観光周遊コースの整備を促進するなど、県内全域へ観光客が訪れる流れの形成を図ることについて、記載させていただきます。 ご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
9	<p>第2期「総合戦略」 《基本目標2》魅力づくり (3)インバウンドの拡大に向けた効果的な情報発信と環境整備</p>	<p>愛知県にヒトモノカネ情報がより集まるのを促進できるよう、愛知県としても中部国際空港からの欧米等の直行便の新規開設を働きかけるさらにYouTube等を使って、英語等で愛知県でのビジネスや観光の魅力をアピール・発信する。海外からの問い合わせも、英語等で対応できるようにする。</p>	<p>第2期「総合戦略」では、「インバウンドの拡大に向けた効果的な情報発信と環境整備」として、キーワードである「“Heart” of Japan ~ Technology & Tradition」を掲げ、動画やSNSを活用した情報発信の充実・強化、国際旅行博への出展、海外観光説明会・商談会の開催等の取組を推進すること、また、欧米などの英語圏からの誘客を図るため、レストラン・旅館・ホテルなどを紹介する英語版サイトの運営や、現地でのPR動画を活用したプロモーション・Webでの動画配信に取り組むことについて、記載させていただきます。 さらに、各種広報媒体や観光案内表示の多言語化を進めるとともに、外国人旅行者からの問合せ対応や、観光事業者への通訳・翻訳サービスを提供する愛知県多言語コールセンターの運営などの取組を進めてまいります。</p>

No.	項目	意見の概要	対応案
10	《基本目標3》人の流れづくり(2)大学等の活性化	<p>IT、AIの高度人材を育て輩出するために愛知県として愛知県立大学の情報科学部や情報科学研究科を大幅に強化し、様々な情報が集まりやすい都市の都心にキャンパスを作り、人員の増加や強化を目指し、愛知県の産業のAI化、IoT等に対応できるように整える。</p> <p>また、大学の近くにヒトモノカネ情報が集まれば起業の土壌も出来やすくなるこれは、女性の定着・流入を促進するという観点で、女性の発想を生かした起業の促進など女性が望む分野でのビジネスの創出という点においても必須である。</p>	<p>第2期「総合戦略」では、「県内大学の魅力づくり」として、次代を担う人材がこの地域に集まる流れを創出するため、「大学対抗ハッカソン」の開催など、県内大学の魅力づくりや情報発信に取り組むとともに、県内大学と国内外の有名大学・研究機関等との連携・交流(MOU協定)のマッチングや働きかけを行うことについて、記載させていただきます。</p> <p>また、重視すべき視点の一つである「時代の流れを力にした産業革新・集積」に、「東京圏への若年女性の転出超過が拡大していることから、女性の定着・流入を促進するという観点で、女性の発想を生かした起業の促進など、女性が望む分野でのビジネスの創出が必要である」と記載させていただいております。こうした視点を重視しながら、本県におけるさらなる女性の活躍促進に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>ご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます</p>
11	第2期「総合戦略」《基本目標3》人の流れづくり(5)人の流れを支える社会基盤の整備・機能強化	<p>田原市の伊良湖岬へは、最寄り的高速道路ICから2時間ぐらい掛かる。田原市の旧渥美町は、名古屋市から一番時間が掛かる。物理的に時間が掛かる渥美半島の道路網(高規格道路、国道259号線)の整備を進めてほしい。</p>	<p>第2期「総合戦略」では、「人の流れを支える社会基盤の整備、機能強化」として、広域幹線道路網の整備推進について、記載させていただきます。</p> <p>また、高速道路から渥美半島へのアクセスに関連しては、国道151号や国道259号等の整備を進めていくほか、三遠南信自動車道、新東名高速道路、東名高速道路と接続する「浜松・三ヶ日豊橋道路(仮称)」について、計画の早期実現に向けて、国に働きかけてまいります。</p>

No.	項目	意見の概要	対応案
12	《基本目標4》結婚・ 出産・子育て環境づ くり (2)結婚・出産・子 育て支援	<p>フランスは世界に先駆けて、100年も前に人口減少の課題を抱えた国であったが、「認定保育ママ制度」はそれを解決させた政策の一つとして評価されている。夫婦共働きのもとの子育てを保障しており、学ぶことも多いと思う。</p> <p>また、ドイツでは、ワーク(ジョブ)シェアリングにより、夫婦等が仕事を分かち合うことで、労働時間の短縮や協働等の有機的な価値を生み出している。これがドイツを世界一労働時間の短い国に導くことに貢献した条件の一つと思う。</p> <p>これらをエビデンスとして、研究や実践を広め、普及に向けての取組を進めることが大事だと思う。</p>	<p>第2期「総合戦略」では、「保育サービスの充実」として、待機児童の解消に向けて、保育所等の整備促進を始め、待機児童の大半を占めている低年齢児保育の充実や保育士の確保・資質の向上を図るとともに、病児保育の促進を始め、延長保育や休日保育、事業所内保育など、保護者の多様な働き方に対応した保育サービスの推進について、記載させていただきます。</p> <p>また、「ワーク・ライフ・バランスの推進」として、仕事と育児・介護等を両立でき、多様な働き方を選択できる職場環境の整備に向け、従業員の仕事と生活の環境の調和に取り組む企業の拡大を図ることについて、記載させていただきます。</p> <p>ご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます</p>
13	第2期「総合戦略」 《基本目標4》結婚・ 出産・子育て環境づ くり (2)結婚・出産・子 育て支援 《基本目標6》活力あ る地域づくり (3)持続可能で活力 あるまちづくり	<p>中近距離公共交通のインフラの整備や、夫婦共働きの保障のための保育所等のきめ細かい子育て支援策を整備することが、希望する仕事に就きたいと思う人々の思いを保障し、通勤や子育てを負担と感じない、家庭を尊重する人づくりに寄与し、かつ、女性の人口移動を抑制する施策となるのではないかと。</p>	<p>第2期「総合戦略」では、「公共交通ネットワークの維持・充実」として、「あいち公共交通ビジョン」に基づき、バス路線など公共交通の確保・維持を図るとともに、市町村域を超えた公共交通の利便性向上の推進について、記載させていただきます。</p> <p>また、「保育サービスの充実」として、病児保育の促進を始め、延長保育や休日保育、事業所内保育など、保護者の多様な働き方に対応した保育サービスの推進について、記載させていただきます。</p>

No.	項目	意見の概要	対応案
14	<p>第2期「総合戦略」 《基本目標4》結婚・ 出産・子育て環境づ くり (4)ワーク・ライフ・ バランスの推進</p> <p>《基本目標6》活力あ る地域づくり (1)東三河地域にお ける観光・産業振興 や就業促進</p>	<p>旅先で休暇を楽しみながら仕事もこなす働き方「ワーケーション」は、 山あり海ありの東三河に適した就労のあり方だと思うので、暮らしやす さ、働きやすさをアピールして、推進してほしい。</p>	<p>第2期「総合戦略」では、「ワーク・ライフ・バランスの推進」として、テレ ワークなどの多様な働き方・効率的な働き方の企業への周知啓発を進 めることについて、記載させていただきます。</p> <p>また、「東三河地域における観光・産業振興や就業促進」として、県内 でも先行して人口減少が進む東三河地域において、地域の資源や特性 を生かし、観光・産業振興のさらなる強化や人材の確保・定着を図るた めの就業促進などの取組について、記載させていただきます。</p> <p>ご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>